

# 平成 29 年度

## 名寄市議会 議会報告会実施報告

名寄市議会の活動状況を市民の皆さんにお伝えし、市民や市が抱える課題について意見を交換するため、10月16から19日の4日間、市内12カ所で議会報告会を実施しました。議会基本条例に基づく議会報告会実施要綱では、「第2回定例会終了後、概ね2か月以内に、議員を4班に分けて行う」としておりましたが、議会改革議論の中で「より多くの市民の皆さんと意見を交換すべき」という方向性が確認されたことにより、今年度については『実施は4月と10月の年2回』とし、今回の報告会は4班体制で取り組むこととしました。

今回、町内会館等で実施した報告会には、107人の市民の方々に参加していただき、寄せられた質問、意見、要望は建設的なものを中心に91項目に達しました。改めまして、ご参加をいただきました市民の皆さんに感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

皆さんからお寄せいただいた質問や意見などについては、11月6日に正副議長及び議会運営委員会正副委員長で内容を精査した結果、7項目について市長の見解を求めると判断し、同月9日午前10時に、正副議長、議会運営委員会正副委員長から加藤剛士市長に文書で見解を求めました。

今議会の残り任期も1年半となり、新議会発足後に設置した議会改革調査特別委員会では現在、「市民の目線を基本に、スピード感を持って議会改革を進める」を合言葉とするとともに、議会一体となって「市民から信頼される議会づくり」に邁進しています。市民の皆さんには、今後も私ども市議会の動向にご注視いただきますようお願い申し上げます。



# 《議会報告会 実施概要及び主な質疑》

## 【概要】

今回の報告会は、4班体制とし、1班3会場計12会場で開催いたしました。

開催にあたり、議員自らが資料を作成するとともに、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、「議会だより かわら版」を作成し、公共施設や市内金融機関等に掲示していただきました。市内報道機関への記事掲載依頼、議会だより、市議会ホームページに日程を掲載し、さらには全議員が1人20枚の案内チラシを市民の皆さんに配布して参加を呼びかけました。町内会館等の開催は初めてであり、町内会長はじめ町内会の役員の皆さまにはご尽力をいただきましたことお礼申し上げます。

実施に際しての会場設営、受付、記録、司会進行などは、例年どおり議員それぞれが行いました。

議会側からの説明は、前回の報告会以降に開催された定例会や臨時会の審議状況、各常任委員会・特別委員会の行政視察、政務活動費について、議会改革調査特別委員会の審議進捗状況、名寄市議会に関する市民アンケート調査結果、公共施設使用料の改正についてなどについて説明しました。

意見交換は、特定のテーマを設けずに行いましたが、参加者が少人数だった会場では、すべての参加者からお話を伺うことができました。市民生活などに関わる意見のほか報告会に市民参加が少ないことへの対応、議員定数や報酬について、議会での議員質問、議会に対する意見も多くいただき、改めて改革の必要性を認識させられました。

いただいた質問、意見、要望の中から市長の見解を求めべきと判断した7項目については、11月9日に申し入れし、同27日に回答をいただくことになっています。

なお、12会場で出された質問等と市長からの回答内容については、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせします。



## 【班編成】

### 《A班》

班長 黒 井 徹 (議長)  
高 野 美枝子 (総務文教常任委員会副委員長)  
大 石 健 二 (市民福祉常任委員会副委員長)  
野 田 三樹也 (総務文教常任委員会委員)  
佐久間 誠 (経済建設常任委員会委員)

担当地区… 1区町内会館、智恵文多目的研修センター、瑞生コミュニティセンター

### 《B班》

班長 佐 藤 靖 (副議長・総務文教常任委員会委員)  
川 口 京 二 (経済建設常任委員会副委員長)  
佐々木 寿 (市民福祉常任委員会委員・経済建設常任委員会委員)  
塩 田 昌 彦 (市民福祉常任委員会委員・議会報特別委員会副委員長)  
浜 田 康 子 (市民福祉常任委員会委員)

担当地区… 栄町団地集会所、西部地区集落センター、東風連子供と老人福祉館

### 《C班》

班長 山 田 典 幸 (議会運営委員会委員長・総務文教常任委員会委員)  
熊 谷 吉 正 (市民福祉常任委員会委員長)  
川 村 幸 栄 (経済建設常任委員会委員・議会報特別委員会委員長)  
東 川 孝 義 (経済建設常任委員会委員)

担当地区… 豊栄福祉会館、児童センター、高見区町内会福祉会館

### 《D班》

班長 奥 村 英 俊 (議会運営委員会副委員長・経済建設常任委員会委員長)  
東 千 春 (総務文教常任委員会委員長)  
山 崎 真由美 (総務文教常任委員会委員)  
高 橋 伸 典 (市民福祉常任委員会委員)

担当地区… 東12区町内会館、ひまわりらんど、東部地区集落センター

## 【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおり。

### A班 1区町内会館 参加13人（10月16日）

#### ◆住宅リフォームについて

問 住宅リフォーム助成事業は今年度限りか。今後も継続されるのか。

答 来年度も継続事業としている。

#### ◆公共施設使用料について

問 スポーツセンターの回数券（6枚綴り）540円は値上げしないでほしい。

答 現在、特別委員会で42施設、28本の条例改正に伴い、受益と負担の明確化と、公平・公正性を確保するため、使用料に関する統一的な見直しを行っている。市民サービス向上の観点から議論を深めていきたい。

#### ◆空家対策について

問 町内にかなり傷んだ建物がある、解体には多額の費用がかかるせいか、放置されている。解体のための費用助成の議論はしているのか。

答 市では、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づいて適切に管理されていない特定空家等の所有者に対して「助言または指導」「勧告」「命令」「代執行」の措置をとるとしており、詳細については市の担当（市民部生活環境課）まで相談してもらいたい。

#### ◆屋根の雪下ろしについて

問 広報10月号に高齢者を対象にした屋根の雪下ろし費用の助成についての記事（掲載記事は除雪サービスの申し込み受付について）が載っていた。対象者などの事業内容はどのようになっているのか。

答 近年、高齢者の屋根の雪下ろし作業で死傷者が相次いだことを受けて29年度から新規事業の屋根雪下ろし安全確保特別対策事業として取り組まれている。手元に資料がないが、季節事業の除雪サービスの拡大事業の一環であり対象は70歳以上の高齢者要介護1以上、65歳以上の虚弱な高齢者などのほか所得制限などの基準がある。詳しくは健康福祉部まで相談してもらいたい。

#### ◆町内会加入について

問 マンション入居者の町内会未加入者が増えている。大家が家賃と一緒に徴収するなどの工夫はできないものか。

答 これは1区町内会だけの問題だけではなく全市的な課題である。町内会の加入は任意であり、強制はできないのが現状だが、市でもパンフレットなどを作成し町内会加入を呼びかけており、まちづくりの観点から理解を求めていく。

#### ◆議会改革について

問 現在までの議論経過は。前回の市議選は無投票で議員のなり手がいない。議員報酬の見直しなど出やすい環境整備の検討が必要ではないか。

答 議員定数については平成30年3月を目途に協議することにしており、明年の議会報告会で市民意見を聞く機会も予定している。議員報酬の見直しも考慮すべき課題だが、市のまちづくりに関心を持ってもらう環境の醸成が求められている。

#### ◆議会報告会について

問 今回の町内会単位で行う議会報告会に違和感がある。支援者・支持者を対象に報告を行い、支持者らの声を代弁する方式がよいのではないか。

答 議会報告会は、広く多くの市民の皆さんの考えを直接聞くのがねらい。支持者や支援者への報告会は、各議員がそれぞれで行っており、町連主催のまちづくり懇談会と合わせて市民の皆さんの声を寄せてほしい。

#### ◆JR宗谷本線について

問 宗谷本線廃止問題がクローズアップされている。生活・生存権に関わる地域の重大な問題である。

答 宗谷本線のみならずオール北海道で路線の存続・確保に向けての取り組みと運動展開が大切である。

## A班 智恵文多目的研修センター 参加10人（10月17日）

#### ◆政務活動費について

問 政務活動費を見ると、全額もしくは半額以上の返還がある会派があるが、政務活動をやっていないのか。

答 政務活動をやっていない訳ではない。ネットワークを使って情報交換などを行っている。政務活動費を使わないことを方針としている会派もあるようだ。ただ1人会派の視察では、視察に行く方も受け入れる方も難しい側面もある。

#### ◆高齢者施設について

問 高齢者が増えている。近い将来には、この地区の介護施設で世話になりたい。高齢者向けの施設建設を目的に高齢者の会（ひまわりの会；会員約40人）を立ち上げて、視察も行い関係機関にも働きかけているが、さっぱり前進しないせいか会員も退会していく。小中一貫校や多目的研修センターなどの公共施設を建て替える計画があるのであれば、介護施設併設も含めた総合的な施設建設を望みたい。

答 新たな施設建設となると厳しい。医療機関と距離が離れているなど地勢の兼ね合いからも難しい。総合計画後期計画などの見直しの際に機会を捉えて声を上げていく。地域の要望として、まちづくり懇談会などでも執行者側に要望してもらいたい。

#### ◆議会報告会について

問 報告会の時期は良いが、開会時間を午後7時ではなく早くしてほしい。6時頃が良いのだが。

答 開会時間については、今後市民の意見を聞いて検討する。

#### ◆議員定数について

問 議員定数について、どう考えているのか。

答 議会基本条例に基づいて市の人口、面積、市政の現状と課題などに照らし、議会改革調査特別委員会で、平成30年3月を目途に協議することにしており、明年の議会報告会で市民意見を聞く機会も予定している。

#### ◆市議会議員選挙の時期移行について

問 4月の選挙は農村地区にとっては厳しい。聞くところでは、東川町では2月に繰り上げて実施していると聞く。自治体で時期移行を決められるかどうか不明だが、選挙の時期をずらすことはできないか。農村地区からの議員立起にも効果が望める。

答 確かに選挙時期が農繁期と重なり農村地区にとっては大変である。今回の選挙では、4人の議員がいた風連の農村地区からは結果的に出ることができなかった。

### A班 瑞生コミュニティセンター 参加8人 (10月19日)

#### ◆市議会議員選挙の時期移行について

問 以前は地元に議員がいた。改選期の4月は農家にとって農繁期であり、出る方も応援する方も何かと大変だ。改選期を6月ごろに移行できないか。地元に議員がいないと、議会が遠のいていく。

答 先日の会場でも同様の質問があったので、改選期の移行について調べてみた。それによると、早めの解散しか手立てがないようである。

#### ◆議員活動について

問 議会と住民の意思疎通が薄いようだ。住民の関心も低く、議員さんの名前も知らないのが現状である。良い方法はないか。

答 声をかけていただければ、どこへでも出向く。どうか躊躇することなく、声をかけてもらいたい。

#### ◆議員定数について

問 議員定数は人口比だけで結論を出すのではなく、これ以上、減らすべきではないと考えている。

答 議会基本条例に基づいて人口比だけでなく、市の面積、市立大学や市立総合病院を抱える市政の現状と課題などに照らし、議会改革調査特別委員会で、平成30年3月を目途に協議することにしており、明年の議会報告会で市民意見を聞く機会も予定している。

#### ◆議員のまちづくり懇談会参加について

問 議員も市民だが、まちづくり懇談会に議員も参加しているのか。

答 加入している町内会会員として大半の議員が参加しているものと推察している。ただ挙手して意見を述べることは自重しているようである。

#### ◆JR宗谷本線について

問 宗谷本線については、議会も市と歩調を合わせていると思うが、進捗状況につい

て説明してもらいたい。

答 加藤市長が会長の宗谷本線活性化推進協議会で、現在、議論を行っている。宗谷本線のみならず、地域、国、道、JRが一緒になってやっていくことが大事だと思っている。

#### ◆道路改良及び舗装化について

問 基線から20線東3号まで工事のためかダンプカーの走行量が多く、路面の傷みが激しい。道路幅員が狭く、車両が道路真ん中を走行していて危険である。なんとかセンターラインを引いて走行の安全を確保できないか。

答 センターラインについては道路交通法など関係法令によるものと考えている。

問 市内8号道路から終末処理場の路面の凹凸が激しい。スイートコーンなどの農産物の段ボールが荷崩れするほどである。

答 議会として、担当者に意見が出ていたことを伝える。議会だけでは難しい問題があるので、行政に対してもまちづくり懇談会で要望してもらいたい。

#### ◆橋梁の修復について

問 東5号と東7号の間にかかっている18線が損壊したまま放置されている。中名寄の日彰、朝日は19線を遠回りするしかない。その後の進捗はどうなっているのか。

答 議会でも取り上げているが、地域からも声を上げてもらい実現を目指したい。

### B班 栄町団地集会場 参加9人（10月17日）

#### ◆常任委員会等の行政視察について

問 行政視察の視察先はどのような基準で決めているのか。こんなにたくさんの視察先が必要か。先進地を真似るのではなく、名寄市独自の取り組みを考えたほうが良いのではないか。

答 各常任委員会等でテーマを決めて、名寄市が抱える様々な課題について、先進地の取り組みを参考にするため、各委員会で視察先を決定している。それぞれの自治体、施設等によって、取り組みや考え方が違うので、予算の範囲内で効率よく多くの先進地で視察研修できるように調整している。先進地を真似るのではなく、考え方や取り組みを伺い、名寄市にどう活かせるのかを各委員会で議論する。視察研修の報告書も提出している。名寄市の将来に役立てるための視察研修と理解していただきたい。

#### ◆空家対策について

問 所有者不明の空き家など、行政の対策はどうなっているのか。

答 全国的な問題であり、名寄市でも実態を調査している。市内の空家や空地を有効活用し、生活環境の保全や防犯等の安全対策と市内への移住や定住促進に寄与することを目的に名寄市空家バンクを開設している。空家等を活用し移住する場合等には住宅改修等推進事業の補助を受けることもできる。放置されている空家等

については、行政としての強制的な措置もできるが、実態の把握と対応策を検討している。

#### ◆市営住宅について

問 栄町 55 団地は 90 戸あるが、3 分の 1 程度が未入居の状態。広報による公募もされているが、入居者がいないようだ。市営住宅なので市の判断で家賃を下げる等、入居者確保の対策が必要なのではないか。

答 市営住宅等は国からの補助事業で建設しており、名寄市で家賃の改定はできない。修繕の時期等により、空き室となっている場合がある。

#### ◆名寄駐屯地の隊員の増員について

問 名寄駐屯地の隊員が 600 人増えると聞くと、そのような話があるのか。

答 防衛上の問題もあり、確定している話でなければ議会等に報告はない。

#### ◆名寄市立大学の地元からの入学者について

問 名寄市立大学への地元からの入学者が少ないのではないかと。市外、道外からの入学者が多いが、卒業すると名寄市に残らず地元に戻ってしまう。

答 名寄市立大学では、推薦入試の募集人員の一部に名寄市と周辺市町村高校を対象に地域指定枠を設けている。応募があっても、基準に満たない場合は、地域指定枠が満度に埋まらない場合もある。平成 29 年 3 月卒業生は、名寄市に 10 人就職した。奨学金等の関係もあり、例年よりも多い人数である。「名寄市立」という意味を考えるよう総務文教常任委員会でも議論を進めたい。

#### ◆JR 名寄駅舎と中心街活性化について

問 名寄駅舎の改築の話もあるが、昔風の駅舎を残してほしい。若い人は徳田方面に車で買い物に行けるが、バスを使ったり、時間がかかったり都合が悪い。中心市街地も活性化を望む。

答 名寄駅や駅前交流センター「よろーな」が中心市街地活性化の基幹である。「よろーな」は賑わいの創出により、地域経済の発展および中心市街地の活性化を目的としていたが、成果については課題である。JR 名寄駅舎と直接には結びつかないかもしれないが、JR 宗谷本線の維持存続について、宗谷本線沿線首長、議会と総ぐるみで取り組んでいく。

#### ◆名寄市立総合病院での放射線治療の取り組みについて

問 週 5 日間 1 日 15 分の放射線治療を受けるために、旭川に通院することができずに入院している方がいる。名寄市立総合病院で治療可能となるよう取り組んでほしい。

答 第 3 次医療を担う病院として治療できる施設が必要という声もある。要望を常任委員会などで伝えていきたい。

#### ◆除排雪について

問 名寄市は冬季スポーツの拠点として力を入れているが、一方で住民が冬の除排雪で苦勞している。予算がないからといわれるが、排雪の回数を増やしたり、朝の除雪後の間口除雪など冬の生活に予算をかけることはできないか。



答 除排雪については、経済建設常任委員会で調査研究をし、議会に報告をしている。除雪の問題などで転出する方もいる。ずっと名寄に住んでいられるように行政として市民の冬の生活を支えていかなければならない。議員全員が同じ思いを持って取り組んでいきたい。

#### ◆歩道の補修工事について

問 歩道のマンホールのふたの周辺が盛り上がりすぎている箇所の補修工事の準備をしていたようだが、今年度まだ施工されていない。どうなっているのか。

答 当初、施工予定だったが、予算の関係上今年度はできなかつたと聞いているが、担当に確認し報告する。

#### ◆議員定数について

問 議会改革の進捗の報告があったが、議員定数について、どのような意見が出ているのか。名寄市議会は近隣市町村より活発と感じている。議員定数は、現行の18名のままでよいのではないかと感じている。

答 議会定数の議論については、今後、議会基本条例の見直しの部分で議員定数も含め協議をする。市民アンケート調査の結果も出ているが、議員定数については予算や施策の審議が議論できる体制を作らなければならない。全体を見て議論を進めていく。

## B班 西部地区集落センター 参加10人(10月19日)

#### ◆施設の使用料等について

問 駅前交流センター「よろ一な」に入っている商工会議所や旧公設地方卸売市場に入っている民間業者の賃貸料はいくらなのか。

答 商工会議所については、当初は「よろ一な」建設の際に協力金をいただいております、電気料等の面積案分を徴収していた。現在「よろ一な」は、名寄観光協会の指定管理で運営されている。旧公設地方卸売市場については、平成26年度からの2年間の無償貸与期間を経て、現在は有償で貸している。

#### ◆議員定数について

問 議員定数を減らして選挙できるようにしなければならない。それぞれの議員が議員活動の間に後継者を育て、議員を勇退するときには後継者にバトンを渡せるようにすべきではないか。

答 合併から徐々に議員定数を減らし、現在の18人になった。名寄市の予算規模、委員会構成等を考えるとき、これ以上定数を減らして選挙することが良いのか、議会基本条例の議員定数のあり方を議論する。

#### ◆市議会議員選挙の時期について

問 農村地区では高齢化が進み市議会議員選挙にあたっての後援会組織の結成が難しくなっている。市議会議員選挙の4月は水稻の播種作業が重なり、後援会活動も大変な時期である。議員に出たいという気持ちがあっても応援してもらうこと

を考えると大変だと思わないか。旧風連町は8月だった。選挙の時期を考慮してもらいたい。

答 現在は、農業に関わる議員は2人。風連地区の農業に関わる議員は0人。4月30日までの任期があるため、選挙を前倒しするには議会の解散ということになると思う。意見があったということは報告したい。

#### ◆議員が考える名寄市の課題は

問 名寄市が抱える課題は多岐にわたると思うが、各議員はどのように考えているのか。自ら志して議員になり名寄市で活動されている。それぞれの想い、考え方で、将来、名寄市が残れるような道を探してほしい。

答 少子高齢化、子育て対策、働く場の確保、農業の振興など名寄市の抱える課題として認識している。名寄市民が安心して住める街になるよう、今後も18人の議員が課題を共有しながら議会活動を進めていく。

#### ◆農業振興と防災対策について

問 農業を始めて20年になるが、名寄の農業をどのようにしていかなければならないのかを考えるようになった。小さな川の氾濫でも、農地に影響がある。災害を防止することで、農地が良い土地になる。良い作物ができる土地になれば、第1次産業としての農業も地域も盛り上がる。情報提供などにも協力したい。

問 曙地区は基盤整備が進んでいる。基盤整備をすると農業が良くなるという実感をしている。他の地域でも、基盤整備等農地が良い状態を長く保つような施策を進めてほしい。

答 町内会等で開催する議会報告会のほかにも、農業青年、商工業関係者などジャンルを絞った意見交換会を開催したいと考えている。農業振興についても、実際に農業者の声を聞いて理解し、議員活動、議会活動をしていきたい。若い世代の皆さんが意欲を持って農業に取り組めるよう支え守っていきたい。

#### ◆冬季の市内バス停の安全対策について

問 市内のバス停について、雪が踏み固められ馬の背のようになり、乗降しづらい。特に西條前バス停は歩けないほどである。子どもやお年寄りが安全に乗り降りできるように行政が支援する必要があるのではないか。

答 管理組合を持つところは管理組合が管理し、名士バスのバス停についてはバス会社が除雪することになる。安全面の配慮ということは必要であり、意見として受けとめる。

## B班 東風連子供と老人福祉館 参加6人 (10月19日)

#### ◆公共施設の使用料等について

問 公共施設の使用料について、名寄地区と風連地区との比較もあると思うが、議会として考え方は。風連地区は従来無料であった施設についても使用料がかかるようになった。これまでの歴史や施設の役割など地域によっては難しいところもある

と思う。

答 第3回定例会で公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について議案提案され、特別委員会を設置し付託された。受益と負担の明確化、公平性・公正性を確保するべく、更なる市民サービスの向上を基本として審議する。実態を把握し議論を進めていく。

#### ◆閉校した東風連小学校校舎の活用について

問 東風連小学校が閉校するとき、地域として1教室活用すると申請した。その後、もう1教室を使いたいと申し入れたが使えないと言われた。活用できないのか。

答 耐震化などの問題もあるが、活用について確認する。

#### ◆農業施策について

問 名寄市は第1次産業である農業のまちというが、最近は農業情勢もめまぐるしく変化している。農業者としては不安な部分が多いが、市としての農業施策はどのように考えているのか。現実的ではない施策もあり、活用できないものもある。

答 農家の担い手、商工業の青年部など団体を限った意見交換会を実施したい。資料などで受けた説明だけでは、農業経験のない議員には判断する知識に欠ける。基幹産業である農業についての現場の声を聞いて、18人の議員で共有したい。

#### ◆労働力不足について

問 労働力不足は農業に限った事ではないが、自衛隊員の農業支援の新聞記事が出ていたが、今後、農家の支援に自衛隊員がかかわることも可能なのか。

答 自衛隊員の農業支援は、災害時の出動以外は難しいと考える。名寄市内の労働力不足は農業に限らず課題である。少子高齢化、過疎化に起因する問題であり、外国人労働力などの活用についても考えなければならない時代になってきた。

#### ◆河川整備による防災対策について

問 フーレベツ川の木や川底の問題について、過去の要望活動により23線まで河川環境整備が実施されたが、以降、整備されないため災害の心配がある。管理主体が違うため、市に要望しても整備についての回答はない。意見書を提出するなど議会として対応してほしい。

答 豊栄川など名寄市内の河川でも同じ状況にある。災害が起きてからでは遅いので、国会議員、道議会議員の力を借りながら、議会のできる対応について協議したい。

#### ◆地籍調査について

問 まちづくり懇談会でも話しているが、旧風連町は地籍調査を行っていない地域がある。今後、土地の売買等が多くなることも考えられる。行政として地籍調査をする必要があるのではないか。

答 今後の売買でも支障が出ると思う。持ち帰り確認する。

#### ◆地域の公共交通について

問 この地域では道北バスが運行されているが、今後、車輛がワンステップバスに更新されると、21線の踏切が通行できなくなると聞いた。旭、日進地区では路線バスがデマンドバスに変わるようだが、東風連地区では道北バスの運行路線が変わ

った時にはどのような対応が考えられるのか。

答 地域住民の足を守るのは公の機関の役割。過疎化の問題の中でも課題となる。持ち帰り確認したい。

#### ◆除排雪について

問 名寄地区の排雪について、一時停止や優先道路など交通ルールに配慮したほうが良いのではないか。

答 幹線道路、通学路、一般道路等市民生活に配慮して、委託業者に任せている。内容について担当部署に確認をする。

### C班 豊栄福祉会館 参加7人 (10月18日)

#### ◆現在使用していない公共施設の管理について

問 市内の公共施設について、現在使用されていないごみ焼却施設や旧公設地方卸売市場など景観的にも良くなく維持費もかかっているのではないか。今後の対応の見通しはどのようになっているのか。

答 安全性の問題もあるが、取り壊しに要する財源確保が厳しい現状にあり具体的な方向性は見えていない。今後も引き続き行政に財源確保を含めた対応を求めている。

#### ◆開業医誘致について

問 開業医誘致条例が提案されたということだが、市内の開業医について今後どうなっていくのか。増える見通しはあるのか。

答 ここ数年で市内の開業医3院が閉院しており、市立総合病院の役割やかかりつけ医の不足等の状況などから、上川北部医師会の要望を踏まえ条例提案がされ、現在常任委員会において審議中である。名寄市の実情に合った助成制度となるよう審議し、開業医誘致に結びつけていきたい。

#### ◆委員会等の行政視察について

問 議会改革調査特別委員会での視察について、紋別市の状況について詳しく聞きたい。また、芽室町の通年議会とは何か。

答 紋別市では平成26年7月より議員定数を18名から16名へ削減し、それに伴い3常任委員会から2常任委員会へと委員会体制を変更しており、本市議会の今後の定数議論と委員会構成の参考とするため視察を行った。2常任委員会体制については、委員数の増による議論の活発化が図られた一方で担当所管の拡大による委員の負担増大や専門性の低下がみられたとのことであった。通年議会とは定例会を年4回という形をとらずに、会期を通年制にし、常時議会が開催されていることである。芽室町での導入の理由としては、議会開議の主導権の確立と委員会活動と議員活動を機動的に行うということであった。

#### ◆政務活動費について

問 政務活動費の執行状況について、会派毎に全額使用、一部使用、全額返還等様々

だが、政務活動費を使用していないということは活動をしていないということか。  
答 会派により活動の状況も異なるので執行状況にも違いは出る。全額返還しているから活動をしていないということではない。政務活動費の使用についての考え方がそれぞれあるということだと思う。

#### ◆議員定数について

意見 議員定数については現在の 18 名でも良いと思うが、やはり選挙はあったほうが良いと思う。選挙が無いと、どんな人が出て何をやろうとしているのかが分からない。

意見 仮に議員定数が削減されたとしても、3 常任委員会体制は継続した方が良いと思う。議員は大変だが兼務などの体制で考えてほしい。

#### ◆議会報告会について

意見 高齢になると夜の時間帯の報告会への参加は億劫になる。昼間の時間帯の開催も検討してほしい。多くの市民の参加を考えるなら、昼間、夜、土日の組み合わせでの開催も必要ではないか。

意見 「議会報告会」というネーミングが硬い印象を受ける。もっと柔らかく身近に感じる工夫が必要ではないか。

意見 今回の報告会は今までと違い、親近感の持てる身近な話し合いができて良かった。今までは参加者より議員の数が多く、発言がしづらい雰囲気があった。今回のように議員の人数が少ないと威圧感もなく膝を交えて話すことができる。今後もこのような形での開催をお願いしたい。

## C班 児童センター 参加 19 人 (10 月 19 日)

#### ◆名寄市議会に関する市民アンケート調査について

問 市民アンケートの回収率 30.8%は極めて低いと思う。そのアンケートの設問中、議会に対して関心があるとの回答は約 24%で、大多数の市民が議会に関心を持っていないということだと思う。もっと関心を高める努力が必要ではないか。また、アンケート項目に議員の行動に対する見方、議会に対する見方なども入れてはどうか。

答 回収率についてはご意見として真摯に受け止める。他の議会の例として 20%程度の回収率であったものが、2 回、3 回と繰り返しアンケート調査を実施することで 60%の回収率になったという事例もある。今回の結果を踏まえ検証するとともに、市民に関心を持ってもらえる取り組みについても引き続き議論していく。

#### ◆議会だよりについて

問 議会だよりを読んでいるが、良いと思えない。一般質問の内容の記述もどの議員も同じような感じで伝わるものがない。議会報での情報発信の仕方の改善が必要ではないか。

答 一般質問の原稿は一定の決まりの中において各議員が作成している。視察などで

他自治体の議会報をみると、写真を大きくしたり短い言葉での表現を用いたり工夫している例が多くある。頂いた意見を踏まえ、より多くの方に読んでもらえるような議会報になるよう議会報特別委員会の中で引き続き検討をしていく。

#### ◆道路整備について

問 生活道路の整備が非常に悪い。防塵処理の繰り返しの方法には疑問を感じている。昨年は雪が早く2～3日前に油をまいてそのあと砂を撒きすぐ雪が降ったため春はひどい状態になっていた。また、毎年穴があくのは路盤に原因がある。担当の職員が施工方法等をもっと研究すべきであり、舗装率のアップを求める。

答 道路の改修の財源においては、国や道の補助金が大きなウエイトを占めており、なかなか計画通りに改修が進まない状況がある。道路補修は毎年4月末には業者に発注するが、業者の都合等により時期が遅くなることもある。防塵の施工方法については同様の意見を市民から聞く事があり、改めて認識し、行政に対して提言をしていく。また舗装率の向上については、総合計画（第2次）の中において今後10年で5%アップを目標に整備する計画となっており、計画的に整備が進むよう働きかけをしていく。

#### ◆町内会加入について

問 近年、当町内会にもマンションの建設が増えているが、マンション入居者の町内会への加入が少なく、対策が必要である。未加入者に対しても広報は配布しなければならず、町内会役員の負担にもなっている状況である。聞くところによると市職員も加入していない例もあるというが、率先して加入するべきではないか。またマンションの建築業者で市外業者の中には、町内会費が管理費に組み込まれているところもあり、市内業者にも協力を求めて加入促進をしていくべきではないか。

答 同様の意見を他の町内会でも伺っており、以前議会の一般質問でも取り上げられた経緯もある。加入はあくまで任意であり強制はできない部分もあるが、議会としても改めて認識し、加入促進につながる対策を働きかけていく。

問 名寄市立大学の学生に対しても町内会への加入を勧めるべき。大学には市民の税金が投入されているのだから、大学側の協力も得て加入してもらうよう働きかけてもらうことが必要ではないか。

答 ご意見として伺い、大学側としてそのような働きかけが可能かどうかを含め確認をしたい。

#### ◆高齢者に対する除雪サービス等について

問 合併後10年が経過し、人口減・過疎化が確実に進行している中、名寄市に住み続けたいと思える施策が重要であるが、特に高齢者の転出の原因として除雪の問題がある。現在、市で実施している除雪助成券の交付については、対象となる世帯はそう多くないと思われる。収入基準額の見直しを含め助成対象を拡大し、多くの高齢者がサービスを受けられるようにすべきではないか。

答 昨年度の除雪助成券の交付状況は、名寄地区で153件、風連地区で86件。市と

しても限られた予算の中でどの部分に優先的に配分するかというところだが、貴重なご意見として受け止め、行政側に提言していく。

#### ◆子育て支援施策について

問 子どもたちの医療費無料化を拡大すべきである。現在、名寄市は未就学児の医療費と小学生の入院医療費を全額助成しているが、隣の士別市は小学生以下の医療費と中学生の入院医療費を全額助成している。限られた予算の中だとは思いますが、士別市も財政が厳しい中で拡大している。所得制限等があっても良いと思うので、名寄市もまずは小学生の医療費無料化までは拡大すべきではないか。

答 士別市と単純に比較できるかどうかというのはあるが、ご意見は十分理解できる。予算の関係も除雪サービス同様に何に重点をおいて配分するかということだと思う。議会としても無料化の拡大が望ましいというのは少なくとも共通認識だと思うので、行政に対して検討を働きかけていく。

#### ◆国民健康保険制度の都道府県化に伴う名寄市の状況について

問 国民健康保険制度の改正により国保税はどうなるのか。名寄市は上がるのか。

答 来年度から国保の財政管理が都道府県に移管される。現段階で、はっきりしたことは申し上げられないが、今後のスケジュールについては、11月に1回目の本算定、来年2月に2回目の本算定が道から示され、3月議会で条例改正が提案される見通しである。

#### ◆なよろ温泉サンプラーの改修について

問 サンプラーの温浴施設改修の件について、以前一般質問などでも取り上げられていたが、その後どうなったのか。その後の動きが聞こえてこないが忘れてしまったのか。

答 所管常任委員会では温浴施設が市内経済にもたらす効果についての調査研究として、先進地視察も予定されている。決して忘れたわけではない。

## C班 高見区町内会福祉会館 参加9人（10月19日）

#### ◆議会報告会について

問 議会報告会に関して、説明側が多く参加者が少ない状況をどう思うか。行政のまちづくり懇談会も同じような状況である。参加者が少ない中では市民の声ということにはならない。市内の拠点ごとの開催ではなく、町内会単位等分散して開催してほしい。

意見 議会報告会のあり方について、お茶の間懇談会のように車座になって、参加者から話を引き出す工夫をしてほしい。何かありませんかと言われてもなかなか意見は出づらい。

答 以前から議会側としても頂いたご意見と同様の課題を認識しており、今回の4班集体での開催となった。今後も引き続き、きめ細かく市民の声を聞く機会をつくり、多くの市民に参加して頂けるものになるよう取り組んでいく。

#### ◆議会改革について

問 議会改革について、何を改革しようとしているのか具体的に見えてこない。

答 今回の選挙が無投票であったことをうけて、議会改革調査特別委員会を設置し、市民に信頼される議会を目指して取り組んでいる。一言で議会改革といっても多岐にわたるが、今回の報告会も議会改革の一環であるし、3常任委員会がそれぞれ明確なテーマをもって活発に活動がなされていることなど、少しずつ成果として表れてきている。今後は議会基本条例の検証を行い、政務活動費、議員定数などについて議論する。議会全体と個々の議員の資質向上に向けてできることからしっかり取り組んでいく。

#### ◆議員定数について

問 議員定数は議員で決めるのか。議会が減らすと言えば16名になるのか。

答 地方自治法上で定数の上限規定があるが、名寄市議会議員定数条例で現在18名と定めている。仮に、減らす場合には議会で決めて条例を改正するということになる。

#### ◆読書離れについて

問 視察報告で図書館のことについて説明があったが、現在1人当たりが読む本の冊数が非常に少なくなっている。どう考えるか。

答 所管常任委員会において図書館をテーマに先進地視察等の調査研究を行っている。どの図書館においても共通しているのは、施設整備等のハード面以上に図書館の理念やあり方などのソフト面が大事だということである。現在の情報発達社会の中で本市においても読書離れの解消に向けて様々な取り組みをしているが、今後、所管委員会としても市立図書館のあり方を含め引き続き調査研究を行い有効な施策に結び付けていきたい。

#### ◆各委員会の行政視察について

問 行政視察について、任期中何回行くのか。また視察を参考に行われた市の事業はあるのか。

答 現在、常任委員会の行政視察は任期中予算の範囲内で毎年実施することとしている。視察の結果等を議会全体で協議し、政策提案したことはないが、例えばEN-RAYホールや炭化センター、除雪についての提案など、個々の議員が一般質問等で取り上げるなどして施策に反映された例もあり、視察が有効に活かされている部分はあると思う。視察の成果報告としての市民周知については課題があると認識をしており、今後、手法等も含め協議していく。

問 視察について、これだけ情報技術が発達しているのだからインターネット等からの情報で十分ではないか。

答 実際に視察先に行き、目で見て話を聞くことで勉強になる部分が多い。視察の報告や成果について市民への情報発信の不足がそのようなご意見につながるものと捉え、その部分は今後十分協議する。

問 名寄市への視察は多くあるのか。



答 決して多くはないが年間 15～16 回くらいの議会が来名する。天文台や大学の視察が多い。

#### ◆定例会の一般質問について

問 時々議会を傍聴に行くが、お互い文章を読んでいるだけにしか聞こえず、面白くない。一字一句事前に行政側とすり合わせをしているのか。

答 質問内容を事前通告し、質問の主旨の聞き取りは行っているが、内容のすり合わせはしていない。個々の議員の質問の仕方、やりとりの仕方にも違いがあり、そのように捉えられるケースもあるのかもしれない。

#### ◆議員活動について

問 議員は名寄市の議員であって、町内会の議員ではない。高見区は議員がいなくなったので議会の様子もわからないし、要望を聞こうとする議員がいらない。議員は自ら出掛けて要望を聞いてほしい。

答 個々の議員の活動はそこがベースであると思っている。市民と行政のパイプ役としての活動を今後もしっかりと行っていく。議会全体としてもこのような意見を聴く場を多く持てるよう努めていく。

#### ◆高齢者の運転免許証の返納について

問 高齢者の運転免許証の返納について、名寄市では返納者へのサービスはあるのか。公共交通機関が充実していればいいが、非常に不便になるし、障がいを持った家族がいると車が運転できないと大変である。

答 現状、運転免許証返納者へのサービスはない。免許を持っていない人との公平性という問題もあるが、課題として認識はしている。

#### ◆議会だよりについて

問 議会だよりについて、一般質問など議員の特色が出ていない。委員長 1 人でチェックしているからみんな同じようになるのでは。

答 各議員から原稿をもらい、議会報特別委員会全員でチェックをしている。520 字以内と決められた中で書くためそのように感じるのかもしれない。委員会としても先進地の事例を学ぶ中で、個性ある書き方や編集方法をしているところもあるので、参考にし、工夫をしていきたい。

#### ◆市職員の対応について

意見 市職員に関して、市内の地理的な部分をあまりにも知らなさすぎる。また、部署の異動時の引き継ぎがなされていないため、何回も同じことを言わなければならない。しっかりしてほしい。

#### ◆レンタル&ゴー事業について

問 レンタル&ゴー事業について、どのくらいの申し込みがあったのか。重機の操作等も含め無理な町内会もあるので、もっと違う形で考えられないのか。

答 所管常任委員会として除排雪の課題解決に向けて調査研究した一つの成果として、今年度モデル事業として3町内会を公募により選定し、実施する事業であり、まずは取り組みの姿勢についてはご理解を頂きたい。事業への申し込みについて

は現段階では把握していないが、今年度の実施状況を踏まえた中で今後も除排雪の課題解消に向けて協議をしていく。

#### ◆除排雪について

問 排雪に関して、他市において門口処理を個別にやっているところはあるのか。また雪を敷地内で処理することが困難な状況も多く見受けられるので、排雪時には事前通告してもらって雪の処理をしてもらうことはできないのか。

答 個別に門口処理を行っている所はないと認識している。以前、排雪の事前通告をしたところ、重機で大量の雪が出されたという経緯もある。課題はあるが、どのような形がとれるかを含めて検討を引き続き行っていく。

#### ◆道路整備等について

要望 市内の道路について、非常に幅員が狭い道路があり、危険な状況があるため改善をお願いしたい。また、木の枝が茂り、道路にかかり見通しが悪くなる箇所があり、市の管轄の部分はしてもらえたが、民間所有の箇所については対応がされていない。何とかしてほしい。

問 18線道路について、まちづくり懇談会で今年度中に整備すると言っていたがどうなっているのか。

答 状況を確認し、お伝えする。

### D班 東12区町内会館 参加8人 (10月16日)

#### ◆成年後見制度事業費の補正について

問 成年後見センター事業業務委託料について、社会福祉協議会が取り組む内容と審議状況について教えてほしい。

答 判断能力が十分でない方が不利益を被らないように成年後見制度を利用するための相談業務などをする。補正予算の審議では特に質疑等なく可決した。

#### ◆議員定数について

問 議員定数を20人から18人に削減したが、議員の立場として2人削減された18人でも不都合なく議員活動、議会活動を遂行しているのか。議会運営のための議員ではなく、市民に目を向けて活動することを期待している。

答 議会としての統一した見解はないが、参加議員の個々の感想としては、議員定数が18人となってからの議員活動だが、地域の声を伝え地域にとっての役割を果たすためには議員の数は多いほうが良い。他の地域では名寄市よりも人口が自治体で議員定数16人の議会もある。議員の数が多、少ないというのは議員が言うべきものではないと考える。議会基本条例では人口、面積、財政などから同規模のまちと比較して議員定数を定めることとしている。20人でもおかしくないと思う。今までの経過から18人で頑張ってきているという状況。3常任委員会の体制をとるためには18人がギリギリと考える。議員活動を市民に伝えていくということを議会全体としてやらなければ、今後も議員定数を少なくしてもいい

ということになってしまう。

問 今後、議員の成り手がなければ定数を割るかもしれない。議会とどうつながり、議員をどう使って行くかを考えていかなければならない。

答 市民の皆さんには町内会や行政とのつながりが大きく、議員に伝えるまでもないという考えもあるかもしれないが、この議会報告会のように意見交換ができる場が必要と考えている。

#### ◆市職員の対応について

問 行政の中でも委託事業が多くなり、市職員が現場をわかっていないことが多くなった。行政に連絡しても、そのまま対応されなかったこともあった。担当によっては連絡をするとすぐに現場に来てくれる職員もいる。

答 事務処理だけではなく、何のための仕事なのかを職場内で共有する必要がある。報告ミスなど市民に迷惑がかかる。情報の共有をして改善していかなければならない。

#### ◆議員について

問 18人の議員がわからないという市民もいる。議会報告会だけでなく、議員個人が議員活動も報告してもらえると市民は議員がやっていることがわかるのかもしれない。定例会等を傍聴しても質問の回答が準備されている。

答 再質問からは打ち合わせもしていないので、丁々発止のやり取りになる。他の議会ではあまり見られないことといわれたこともある。是非、やり取りを聞いていただきたい。

#### ◆通年議会制度について

問 芽室町の通年議会制度とはどのようなことか。

答 通年議会制度とは、1回招集すると、1年度いつでも議会を開会できる制度である。その中に定例会のように設定している。名寄市議会のように閉会中審査というものがなく、議会の議論、運営ができるシステムとなっている。

## D班 ひまわりらんど 参加4人（10月18日）

#### ◆市内の公共施設について

問 名寄市は外から見るとハード面ではいろいろな施設があるが、それぞれが連携しておらず、バラバラに勝手に作ったという感じがする。「よろーな」や市民文化センターでも勉強している学生が常にいて、勉強コーナーになっているが、「よろーな」やEN-RAYホールを建設するときになぜ図書館など他の施設についても考えなかったのか。

答 総務文教常任委員会の行政視察では、老朽化した市立名寄図書館の将来について視察してきた。考え方によって全く違う図書館となる。名寄市にあった図書館や図書館を中心にして別の施設を組み合わせる複合施設の考え方など、今後委員会で協議していきたい。新しい価値観を総務文教常任委員会で提案できればよいと

考える。他の自治体を視察すると、施設を作るまでに何年もかけて市民の皆さんと話をし、市民が納得できる施設を建設している。どのようなものを目指すのか決めて取り掛かることで、市民の理解を得られる。名寄市は急ぎすぎる部分があるのかもしれない。

#### ◆職員の資質向上について

問 名寄市の専門職の職員研修（資質向上）はどのくらい行なわれているのか。

答 基礎的な研修はプログラムがあり、年齢や役職で受講するようになっている。自分の仕事に役立てる、知識を得るための研修を自主的に受講できる体制ではない。

#### ◆介護職員等の人材不足について

問 特別養護老人ホームでは介護職員が不足して、入所に影響を及ぼしているようだが、給与が安いから介護職員が集まらないのではないのか。

答 給与が安いという部分も影響があるかもしれないが、介護職員となる人材が少ない状況にある。民間でも人材確保が困難な状況にあり、名寄市では資格取得のための補助制度をつくった。すぐに結果は出ないかもしれないが、人材確保につながると思う。

#### ◆議会活動の報告について

問 議会の様子や議会活動をリアルタイムで知ることができればよいと思う。

答 議会報特別委員会では、定例会後に発行する議会だよりのほかに『議会だよ리카わら版』の取り組みを始めた。今回の議会報告会の日程や、参加議員についてポスターを作成し、市内公共施設や銀行に掲示してもらった。今後もリアルタイムで議会活動の報告ができるよう協議していく。

問 議会だよりは自分の気になるところだけ抜粋して読んでいるが、文章ばかりで読みたいと思わない。読んでもらうのではなく見てもらえる議会だよりにすべきでは。

答 作る側としても、どうしたら読んでもらえるかを考えて作っているが、自分が読みたい議会だよりはどのようなものか、市民の皆さんと同じ目線で考えることが必要である。考え方を変えていかなければならない。

#### ◆行政視察の報告について

問 行政視察の報告は、名寄市ではこうしている、名寄市にはこれ足りないなど、名寄市と視察先との対比のような形になればよいのではないのか。他の自治体でやっていることで、名寄市もやるべき施策だとわかれば市民としても問題意識を共有できるのではないのか。

答 視察報告については、それぞれ各委員会で視察先自治体の事業等を名寄市に活かせる部分、名寄市にはそぐわない部分などと評価している。

#### ◆防災対策について

問 災害時の市民周知はスマートフォンやインターネットが中心となっているが、市民全員がそういうツールを利用するわけではない。名寄市では防災無線なども配置されていないので、高齢者等はどうか。

答 行政視察先の自治体で防災行政無線の整備について説明を受けてきた。費用の面など課題はある。近隣では和寒町が希望世帯に防災行政無線を整備している。名寄市としても考えていかなければならない。

#### ◆議会報告会について

問 今回初めて町内会館等で議会報告会を開催したが、いい企画だと思った。残念ながら今日の参加者は少ないが、身近な会場だから参加しようと思った。何度か続けるうちに皆さん参加しようかという気持ちになるかもしれない。

答 大人数で挙手をしてから発言するような雰囲気の中では、なかなか意見を言いづらい部分もある。たくさんの意見をいただけたことは大変ありがたい。今回は新たな取り組みだが、改善する部分があれば意見をいただきたい。

### D班 東部地区集落センター 参加4人（10月19日）

#### ◆橋梁調査について

問 名寄川に架かる七線橋について、調査をしていたようだが状況を知らせてほしい。

答 橋梁の長寿命化にかかわって、市内の橋梁を調査しているようだ。進捗状況を把握していないので、確認し報告する。

#### ◆道路整備について

問 中名寄9線道路、中名寄小学校横中名寄5線道路など舗装工事を早急に進めてほしい。農作業で収穫物を運ぶ道路も凸凹で作物にも影響がある。建設水道部では順番があるというが、地域間の格差を感じる。

答 地域間の格差については常任委員会でも伝えていきたい。緊急性などで順番を付けることになると思うが、担当部署からの市民の皆さんに理解していただくための説明も必要と考える。

#### ◆防災対策について

問 名寄川の中名寄8線の付近は大雨が降ると大変なことになる床ざらいを要望し、現場の確認にも来てもらったが、実施するのかもしれないかの返答がない。名寄川は雨量が多くなると堤防が持たないのではないかといわれているが、どのように考えているのか。

答 サンプルダムの完成で、ある程度解消される見込みである。

#### ◆議員報酬について

問 議員報酬について、各議員はどのように考えているのか。議員の成り手のことを考えると、ある程度報酬を上げることも必要ではないか。

答 議員報酬は月額31万円。手当等を含めて年間500万円程度。議員報酬だけで生活するとなると、市民の皆さんと同じように国民健康保険税や年金保険料などを引かれ楽ではないと思うが、議員になる時にそういうことも覚悟している。若い世代の方が議員報酬で子育てをしながら議員活動するのは難しい面もあるのではないかと。報酬の額によって議員活動が変わるものではない。名寄市内の平均

的な所得を考えたときには安くはないと考える。報酬の額と議員の資質向上は別の問題である。

#### ◆議会報告会について

問 今回のような議会報告会を多く開催することができれば、議員のこともわかるようになるのではないか。今は、議員がどういう人なのか、どういう人柄の人なのかもわからない。

答 今回初めての試みで、町内会館等で議会報告会を実施している。何年かかけて全町内会で実施できればよいと考えている。

問 今回の議会報告会は、農村地区の収穫時期の関係で参加しづらい日程だった。

答 開催のタイミングなども意見交換させていただきながら考えていきたい。

#### ◆今議会での審議事項について

問 今回の議会では何が最大の審議事項だったのか。

答 介護職員の人材不足については、常任委員会での協議や議会で質問などのやり取りをしてきたが、資格取得に対する補助事業など人材確保対策を進めることになっている。また、JR宗谷本線の存続についても継続して議論している。各常任委員会では、それぞれがテーマを持って調査を行っており、経済建設常任委員会では除排雪について調査し、委員会としてまとめ議会に報告している。

#### ◆補助事業の活用について

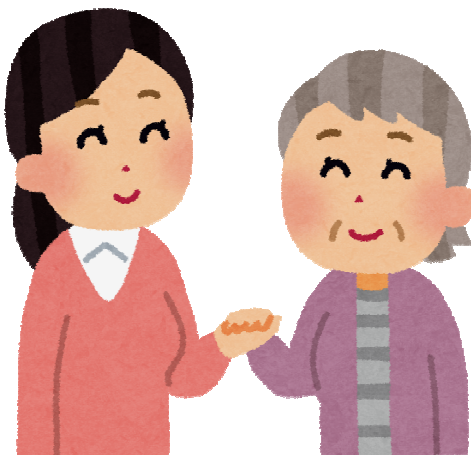
問 名寄市は補助事業についての勉強が不足しているのでは。職員が情報収集して補助金を活用する努力をしなければならない。防衛施設周辺対策事業の対象区域は決まっているのか。

答 補助事業自体が縮小されている傾向にあるが、名寄市でも最終処分場建設等の事業に活用している。補助金活用の理由付け等の研究も必要と考える。

#### ◆サンルダムの自治体負担について

問 サンルダムの建設について、名寄市も負担しているのか。

答 利用する水利権が必要な自治体は負担している。人口的には名寄市が一番多いのではないか。サンルダムの完成で水質なども改善されるのではないか。



## ◆平成29年度 議会報告会 アンケート結果◆

議会報告会でご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は96人で、回答率は89.7%となっています。

※（ ）の数字は回答者数です。

### 問1 あなたの年齢は？

- ①20代(0人) ②30代(4人) ③40代(2人) ④50代(10人)  
⑤60代(32人) ⑥70代以上(48人) 未回答(11人)

### 問2 あなたの性別は？

- 男(72人) 女(24人) 未回答(11人)

### 問3 これまでに議会報告会に何回出席したことがありますか？

- ①1回(41人) ②2回(14人) ③3回(11人) ④4回(5人)  
⑤5回以上(15人) 初めて(1人) 未回答(20人)

### 問4 議会報告会の内容についてはどうでしたか？

- (全体的に) ①よかった(41人) ②ふつう(47人) ③よくなかった(1人)  
未回答(18人)

- (報告内容は) ①わかりやすかった(34人) ②ふつう(47人)  
③わかりづらかった(4人) 未回答(22人)

- (意見交換の内容は) ①よかった(44人) ②ふつう(35人)  
③よくなかった(1人) 未回答(27人)

### ※今後改善すべきことがあればお書きください。

- ・町内会を対象として議会報告会をするというのは、現実、町内会が行政の一翼を担っている点からも議会報告会を町内会単位で行うのは、ちょっと筋違いなのではないかと疑問がある。
- ・もっと分かりやすい内容にした方がいい。
- ・今回、報告事項の内容が難しい言葉が多いと感じ、正直、理解しがたいと思った。
- ・議会報告会の開会時間を18時で行ってほしい。
- ・農業経営者にとってこの時期はまだ取り入れ物があり、11月に入れば落ち着くので1月の昼の開催にしてはどうか。
- ・参加者が少数でも中身のある懇談会であり続けてほしい。
- ・議会報告会の事前周知をもっと徹底すべき。

### 問5 議会だよりはお読みになりますか？

- ①毎回読んでいる(50人) ②たまに読んでいる(39人) ③読まない(5人)  
未回答(13人)

**問6 議会ホームページはご覧になりますか？**

- ①よく見ている（8人） ②たまに見ている（33人） ③まったく見ない（48人）  
未回答（18人）

**問7 議会中継（同時中継、録画中継を含め）はご覧になったことがありますか？**

- ①よく見ている（6人） ②たまに見ている（30人） ③まったく見ない（50人）  
未回答（21人）

**問8 議会を傍聴したことがありますか？**

- ①傍聴したことがある（36人）（平均3.4回程度）  
②傍聴したことがない（56人） 未回答（15人）

**問9 議会に対してご意見があれば、自由にお書きください。**

- ・市民側も今日の議会報告会のような取り組みにもっと積極的にかかわるべきと反省した。
- ・色々と制約がある中で、18人で頑張っているということで市民として応援する。党派を超えて市民と同じ目線で協力し合ってもらいたいと思う。
- ・今日の報告会は報告の中身が少なく理解がしやすかった。
- ・意見交換が多く発言がしやすかった。（2件）・大変良い内容だった。（2件）
- ・町内会を主体にしたアットホーム的な雰囲気話し合いが出来る議会報告会が望ましい。
- ・議員一人ひとりが後援会や一市民の声を聞くことと、併せて全体像を見渡す力量を養う努力をしてほしい。
- ・施設の利用に対して高齢者を優遇してほしい。
- ・今回のような町内会集会所等を利用した小報告会をぜひ実施してほしい。（議会が身近に感じられるし、課題について即答して頂けるのでとても分かりやすい。）
- ・図書館は市の規模に見合ったものにしてほしい。
- ・今後は議会の傍聴をしたいと思う。・議会活動に評価する。
- ・各市議会議員は全市民が送り出した事を自覚して頂き、議員活動に専念して頂きたい。
- ・議員は雲の上の人と置いていたが、大変な気の遣い方をして気の毒に思える。自分のやれる事を頑張ればそれでいいと思う。
- ・情報発信の方法を要検討してほしい。
- ・施設の使用料をもう少し安くしてほしい。（よろーなの冷暖房料が高すぎる。）
- ・意見交換で提言された案件について、議会等で提案した案件があるのか。
- ・執行者側とのやり取りでもう少し具体的な提案を聞きたい。（検討するとかではなく、もう少し具体的な回答を引き出すような力をつけてほしい。
- ・地元で議員がいなくなり、議会に対して遠く感じるようになった気がする。